

科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会

物理学分野の大型研究計画評価小分科会（第1回）

議事要旨

| | |
|-----|--|
| 日時 | 平成28年4月18日（月）13:00～15:00 |
| 会場 | 日本学術会議 6-C（1）会議室 |
| 出席者 | 相原博昭委員、岡真委員、須藤靖委員、田島節子委員、観山正見委員、伊藤公孝委員、江口徹委員、駒宮幸男委員、田村裕和委員、森初果委員、森正樹委員 |
| 欠席 | 河野公俊委員 |
| 陪席 | 日本学術会議事務局（石井参事官、漆畑上席学術調査員、大橋参事官付、鈴木参事官付、大庭参事官付） |

配布資料

| | |
|-----|---------------------------------------|
| 資料1 | 学術大型研究計画における審査・評価プロセスについて |
| 資料2 | 評価小分科会における審議事項等 |
| 資料3 | 第23期マスタープラン策定に係る利益相反に関する考え方 |
| 資料4 | 今後のスケジュール |
| 資料5 | 物理学分野の応募提案一覧・評価用紙【非公開資料】 |
| 参考1 | 小分科会委員名簿 |
| 参考2 | 第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針 |
| 参考3 | 公募要領 |
| 参考4 | 学術研究領域コード表 |

議 題

- 1) 役員の選任について
互選により、委員長として岡真委員が、副委員長として田島節子委員が、幹事として須藤靖委員がそれぞれ指名され、出席委員から承認された。
- 2) 評価小分科会における審議事項等
学術の大型研究計画検討分科会委員長でもある相原委員より、資料につい

て説明があった。

個別の議論の前の方針について、全学術分野における物理学計画の意義を十分理解してもらえるように互いに努力する旨を確認、また計画 64（国際リニアコライダー計画）をどう扱うかという問題提起がなされた。協議の結果、学術の大型研究計画検討分科会に対して、以下の意見を提出することとした。

国際リニアコライダー計画については、学術大型研究計画にふさわしいことは委員全員の意見の一致をみている。一方で、国際リニアコライダー計画に対しては、文科省からの審議依頼に対応して、2013年9月30日付けで「国際リニアコライダー計画に関する検討委員会」から回答がなされており、現在でもその状況は変化していないと判断する。したがって、その回答は国際リニアコライダー計画に対する現在最も適切な評価であると考えられるため、今回この小分科会において他の大型計画と同じ基準での相対評価は行わないこととしたい。

これに対する分科会の判断を待って、各委員は評価を行うこととする。

3) 利益相反についての考え方の確認

学術の大型研究計画検討分科会委員長でもある相原委員より、審査における利益相反についての考え方の説明があった。

4) とりまとめの審議の方法の決定

本小分科会では、各委員による評価の後に行う、各委員の評価が利益相反の点から問題がないことの確認、区分Ⅰ（学術研究領域で融合領域（コード 32-1、33-1、34-1）を選択した提案を除く）の順位づけ及び応募提案（区分Ⅱ）のコメント案のとりまとめの審議の方法を、①とすることとした。

また、副分野を選択している提案について、副分野での評価を依頼するか議論し、一件について依頼することとした。

5) 今後のスケジュール

資料に沿って確認が行われた。

今回は6月8日（水）9:30～12:00とすることとした。